

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和元年12月24日（火）

### 2 確認箇所

- ・既設多核種除去設備
- ・1／2号機共用排気筒（1／2号機開閉所前から確認）

### 3 確認項目

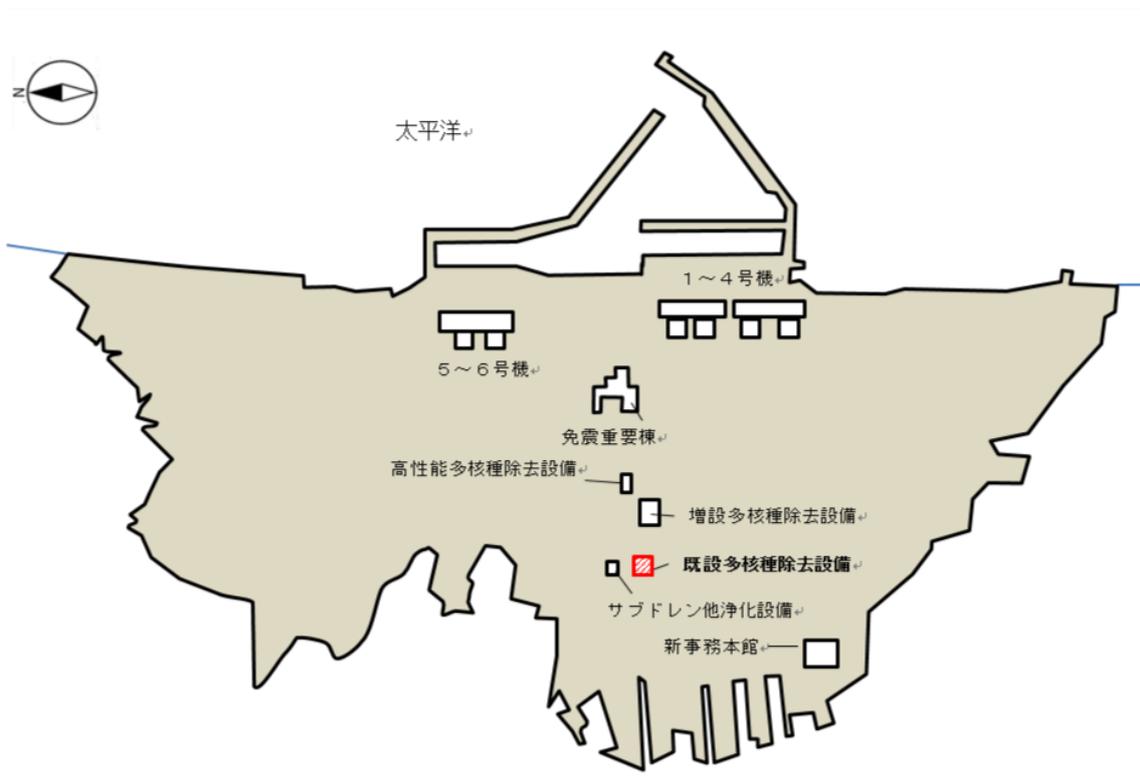
- （1）既設多核種除去設備（B）クロスフローフィルター二次側絞り弁からの漏えいへの対応状況
- （2）1／2号機共用排気筒解体工事の状況

### 4 確認結果の概要

- （1）既設多核種除去設備（B）クロスフローフィルター二次側絞り弁からの漏えいへの対応状況について

昨日（12月23日）、午前10時26分頃、既設多核種除去設備（B）の堰内に水たまり（約3m×1m×深さ1mm）があり、吸着処理の前処理設備であるクロスフローフィルターの二次側絞り弁のグランド部から水が漏えいしていることを協力企業作業員が発見したことから、現場の状況を確認した。（図1）

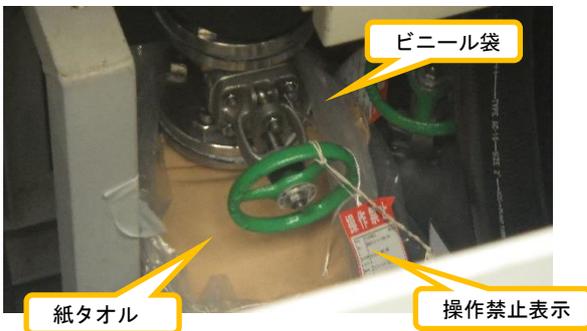
- ・漏えい箇所は堰内であり、現場確認時、漏えいは停止していた。また、当該弁には紙タオル及びビニール袋による養生が行われ、操作禁止を示す標札が取り付けられており、ビニール袋内及び堰内に漏えい水は見られなかった。（写真1）
- ・漏えいがあったB系の他に、A系とC系のクロスフローフィルター二次側絞り弁を確認したところ、どちらもB系と同様に紙タオル及びビニール袋による養生が行われていた。また、C系には「漏えい未然防止のため養生中」と表示がされていた。（写真2）
- ・東京電力によると、漏えいした水は系統水であり、当該弁の増し締めを行ったことにより、昨日（12月23日）午前11時1分頃に漏えいは停止し、滴下した水については、拭き取りを実施したとのことであった。また、漏えいの原因を調査し、必要な対策を講じるとのことであった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)  
赤丸部分が漏えいがあった弁



(写真1-2)  
写真1-1赤丸部分拡大



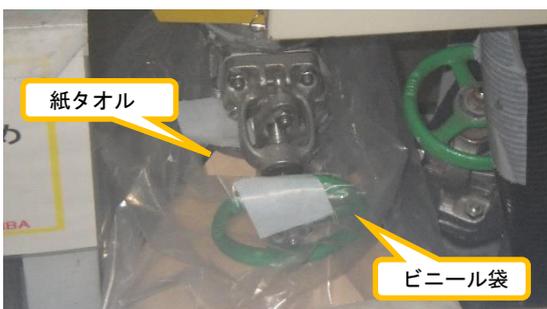
(写真 2 - 1)  
A系の状況



(写真 2 - 2)  
写真 2 - 1 赤丸部分拡大



(写真 2 - 3)  
C系の状況



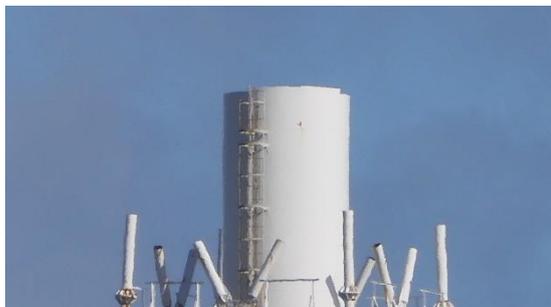
(写真 2 - 4)  
写真 2 - 3 赤丸部分拡大

(2) 1 / 2 号機共用排気筒解体工事の状況について

1 / 2 号機共用排気筒解体作業は本年 8 月 1 日から作業を実施しており、排気筒上部の約 60 m を 23 ブロックに分けて解体する計画のうち、1 ~ 5 ブロック目までの解体を 12 月 19 日までに完了している。

6 ブロック目の解体作業が 12 月 20 日から開始されたことから状況を確認した。

- ・現場確認時には6ブロック目の解体が完了しており、切断された6ブロック目は2号機原子炉建屋の西側ヤードに仮置きされていた。(写真3)
- ・東京電力によると解体作業は本日9時54分に完了したとのことであった。



(写真3-1)  
6ブロック目切断後の排気筒頂部の  
状況  
(12時46分頃撮影)



(写真3-2)  
6ブロック目仮置き状況  
赤丸部分に6ブロック目が仮置きさ  
れている

#### 5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。